

平成30事業年度事業報告

1 総括

奈良県社会福祉事業団が、奈良県の設置する障害者総合支援センター、県営福祉パーク及び福祉住宅体験館の指定管理業務を受託して以来、平成30年度は3期目の3年度目でありました。

当事業団では、奈良県総合リハビリテーションセンターと緊密に連携して、障害の程度が重い方や重症心身障害児(者)に対して、理学療法士などの専門職の配置や手厚い福祉サービスを提供するとともに、近年増加している高次脳機能障害者や発達障害児を対象とした事業を推進しました。

また、平成29年度に改正された社会福祉法に対応して、評議員会を設置・運営するなど経営組織のガバナンスの強化を図るとともに、予算や決算の状況等について適時ホームページ等において公開し透明性の向上に努めるとともに、社会福祉法人の責務とされた地域における公益的な事業にも取り組みました。

平成30年度の重点取組事項については、次のとおりおおむね計画どおり実施しました。

重点取組事項について

重点取組事項	平成30年度取組状況
(1) 重症心身障害児(者)に対する福祉サービスの充実を図るため、人工呼吸器を常時使用する重度障害児(者)に対する療育の提供やミスト浴等の入浴設備の導入などについて検討します。	人工呼吸器の扱いに関する研修(リハビリテーションセンター実施)を受講するとともに、シャワー浴(ミスト浴)を導入している事業所等の視察を実施し、機種選定を行いました。
(2) 作業療法士(小児担当)が地域の保育所等を訪問し、発達障害児に対し感覚統合療法を用いた療育支援や、発達障害への理解を促進する研修会等に講師を派遣する「子ども地域支援事業」を積極的に展開するとともに、奈良県発達障害者支援センターと連携を図り事業を展開します。	保育所等への訪問は310件、1,388人の児童を対象に、感覚統合療法を用いた療育支援を実施しました。 また、研修会への講師派遣を12件(受講人数295人)実施し、発達障害への理解の促進に努めました。

重点取組事項	平成30年度取組状況
<p>(3) 自立訓練センターにおいて、ワークサンプルを教材にし、事務能力、作業能力の向上のための支援を行うと共に利用者個々の特性に適した実務の見極めや助言を行います。就労へのニーズが高いため受入れ人数の拡大を行います。また、現在受入困難な重度障害者への支援ができるよう、医療的管理・身体介護訓練プログラム及び環境整備等、多面的に検討を行い、重度障害者の受入れ拡大を目指します。</p>	<p>6名の利用者がワークサンプルを活用し、その結果、新規就職者はいなかったものの2名が復職、3名が就労移行支援事業所へ移行することができました。今後も就労ニーズへの対応としてより充実した訓練を提供していきます。また、訓練だけでなく食事や排泄、入浴等に係るプログラムや介護体制の見直しを行い合理化を図った結果、障害支援区分6又は5の重度障害者を7名受け入れました。しかし、常時の医療対応や観察が必要な方の受け入については、現状では施設単独で24時間体制により医療従事者を配置するのは困難であり、引き続き検討課題として取り組みます。</p>
<p>(4) 社会就労センターにおいて、利用者の重度化に伴う、利用者個々の適性及び能力に応じた就労支援方法を工夫し、引き続き重度者に可能な作業が受注できるよう新規取引業者の開拓やより高賃金を得ることができるよう取引業者との価格交渉を行い、工賃の増収に努めます。</p>	<p>利用者の重度化・高齢化に対応するため利用者の能力や適性に応じた支援内容を工夫し、重度者が可能な作業を継続して受注しました。また、高単価の作業の受注に務め、交渉により工賃の増収を図りました。</p>
<p>(5) 高次脳機能障害者が職場において対人関係のトラブルに悩んでいる方が多いことから、SST訓練を活用して「質問」や「頼みごと」など具体的な職場での困りごとを再現して職場に適応するためのコミュニケーションスキルの上達を図り、復職や就職、職場定着を目指す高次脳機能障害者を引き続き支援します。</p>	<p>平成28年度・平成29年度高次脳機能障害者対象ソーシャルスキルトレーニング参加者に対して、効果検証のため個別面談及び評価を行いました。また、参加者の交流の場を設けて、高次脳機能障害者の職場での悩みとの共有と職場定着のための支援を行いました。</p>
<p>(6) 介護実習・普及センターにおいて、9月29日(土)に子供から高齢者まで楽しめるような「第3回福祉機器展in奈良2018」(施設・病院開設30周年記念事業)を開催するとともに、「第37回つながり祭」を共催します。</p>	<p>9月29日(土)に「第3回福祉機器展in奈良2018」(施設・病院開設30周年記念事業)を開催し、約500人の参加がありました。</p> <p>5月20日(日)に「第37回つながり祭」を県営福祉パークで共催し、約2000人の参加がありました。</p>

重点取組事項	平成30年度取組状況
<p>(7) 飛鳥川沿いをはじめ、施設周囲のフェンスに設置した鉢や花壇などに花植を実施し、一年中花のある環境を実現し、地域の方々に親しんでいただける施設を目指します。</p>	<p>6月8日(金)と10月12日(金)に、高等養護学校の生徒や奈良県総合リハビリテーションセンター、障害者総合支援センター、わかくさ愛育園の子ども達の協力を得て、飛鳥川沿いを始め、施設周囲のフェンスに設置したハンギングバスケットや花壇などに花植を実施しました。</p>
<p>(8) 田原本町社会福祉協議会の要請に応じて、生活困窮者等支援を必要とする者に対して、事業団で備蓄する食料品、日用品などを提供する「フードレスキュー事業」や、発達障害等の在宅障害児を対象とした「親子体験教室」など地域における公益的な取組を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「フードレスキュー事業」 平成30年11月15日に、田原本町社会福祉協議会との間で協定書を締結し、12月28日に物品を提供しました。 ・「親子体験教室」 発達障害児を対象に、4回実施し、延べ20組の親子が参加し、また重症心身障害児を対象に、10回実施し、延べ10組の親子が参加しました。
<p>(9) 当施設がオープンして平成30年6月13日で開設30周年を迎えることから、これまでの施設運営の足跡を記録するとともに、子供から高齢者まで楽しめる諸事業を開催し、広く県民にアピールします。</p>	<p>9月29日(土)に施設・病院開設30周年記念事業として、記念式典・講演会を開催し、来賓、来場者 約170人の参加がありました。 また、記念誌「30年のあゆみ」を発行し、関係者等に配布しました。</p>
<p>(10) 障害福祉の社会的ニーズに応えられるよう、良質なサービスの提供、利用者の受け入れ拡大の方策を検討するとともに、それらに対応するために、築後30年を経過する施設のリニューアルの検討も併せて進めます。</p>	<p>障害程度が重度の障害児(者)の受け入れ拡大を図るため、必要な職員の配置や職員研修を適切に行うとともに、入浴サービスの実施及び人口呼吸器装着児(者)受け入れのための施設・設備整備等の準備を進めました。 また、県費によるわかくさ愛育園の屋上・外壁防水工事、並びに社会就労センターの静養室及び相談室の整備のほか、独自に食堂の内装工事を行い、環境整備を図りました。</p>

2 法人運営

(1) 会議等

ア 理事会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	平成30年 5月25日	奈良県 文化会館	理事5名 監事2名	1 議決案件 (1)平成29年度事業報告 (2)平成29年度財務報告 (3)承認社会福祉充実計画の変更について (4)奈良県障害者総合支援センター指定障害者支援施設運営規程の一部変更について (5)評議員選任候補者の推薦について (6)平成30年度第1回評議員会の招集について
書面決議 1回目	平成30年 8月23日		理事7名 監事2名	1 議決案件 (1)評議員会の招集、監事選任候補者の推薦、 常務理事の選定について
書面決議 2回目	平成30年 9月18日		理事7名 監事2名	1 議決案件 (1)評議員の推薦、評議員の選任・解任委員の 選任について
第2回	平成30年 11月28日	奈良県文化 会館	理事4名 監事2名	1 議決案件 (1)理事長の選定について 2 報告案件 (1)平成30年度上半期事業報告 (2)平成30年度上半期財務報告 (3)理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第3回	平成31年 3月28日	奈良県文化 会館	理事6名 監事2名	1 議決案件 (1)平成30年度資金収支補正予算(案)について (2)平成31年度事業計画及び資金収支予算(案)について (3)承認社会福祉充実計画の変更について (4)所長、副所長及び事務部長の選任について (5)評議員会の招集について 2 報告案件 (1)理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況について

イ 評議員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	平成30年 6月14日	奈良県 文化会館	評議員 6名 理事1名 監事2名	1 議決案件 (1)平成29年度貸借対照表、収支計算書及び財産目録の承認について (2)社会福祉充実計画の変更について (3)理事の退任に伴う選任について 2 報告案件 (1)平成29年度事業報告
書面決議 1回目	平成30年 9月3日		評議員 8名	1 議決案件 (1)監事の選任について

ウ 評議員選任・解任委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	平成30年 5月31日	奈良県社会 福祉総合セ ンター	委員3名 理事1名	1 議決案件 (1)評議員の選任について
第2回	平成30年 10月2日	奈良県社会 福祉総合セ ンター	委員3名 理事1名	1 議決案件 (1)評議員の選任について

エ 奈良県介護実習・普及センター運営委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	平成31年 3月6日	奈良県介護 実習・普及 センター	委員6名	1 議決案件 (1)平成30年度事業報告について (2)平成31年度事業計画について

オ 施設部経営管理改善委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回 ～ 第12回	平成30年 4月23日 ～ 平成31年 3月6日	奈良県社会 福祉事業団 会議室	所 長 副 所 長 事務部長・課長 施設部長・次長 施 設 部 主 任	(1)施設部の経営状況について (2)当面の経営改善について (3)その他

カ 奈良県障害者総合支援センター、県営福祉パーク及び福祉住宅体験館の指定管理連絡会議

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	平成30年 5月30日	奈良県障害者総合支援センター	行政経営・ファシリテイマネジメント課2名 障害福祉課1名	平成29年度事業報告及び決算状況について
第2回	平成30年 11月29日	奈良県障害者総合支援センター	行政経営・ファシリテイマネジメント課2名 障害福祉課1名	1 平成30年度上半期の利用実績について 2 平成30年重点事項の進捗状況について

(2) 広報事業

名称	発行時期等
ア 機関誌 (奈良県社会福祉事業団ニュース「きらり」)	平成30年8月27日(第17号) 平成31年3月20日(第18号)
イ ホームページ	随時更新
ウ 利用者満足度調査 ・わかくさ愛育園 ・自立訓練センター ・社会就労支援センター ・県営福祉パーク	平成31年2月20日～3月1日 平成31年2月12日～2月22日 平成31年2月5日～2月13日 見学者及び研修講座の都度

(3) 監査

ア 監事監査

年月日	場所	監査事項
平成30年5月14日	奈良県障害者総合支援センター	1 平成29年度の業務執行状況について 2 平成29年度の財産状況について

イ 奈良県監査指導室監査

年月日	場所	監査事項
平成30年10月18日	奈良県橿原総合庁舎	わかくさ愛育園(医療型・福祉型・重心児)

ウ 奈良県監査委員

年月日	場所	監査事項
平成31年1月17日	奈良県障害者総合支援センター	1 平成29事業年度の出納及び出納に関連する事務の状況について 2 平成29事業年度の指定管理に係る出納及び出納に関連する事務の状況について

3 奈良県障害者総合支援センターの運営状況

(1) わかくさ愛育園の状況

わかくさ愛育園は、児童福祉法に基づく「児童発達支援センター」として、親子間の心の絆をつくり、子どもの心を安定させることに留意しながら児童個々の必要に応じた機能回復訓練、感覚運動学習を含む基礎保育を展開し、日常生活における基本的な動作や知識技能の獲得、集団生活への適応の取り組みを進め、各児童の成長・発達を支援した。

重症心身障害児(者)関係では、療育的なかわりに加え、生活経験を豊かにすることを目標に、スポーツレクリエーション、季節の行事、音楽などの活動を提供した。

また、障害児相談支援事業では、障害のある子どもたちとその保護者からの相談に応じ、抱える課題の解決や適切な障害福祉サービス等の利用に向けて、情報の提供及び助言を行い、併せて市町村及び障害福祉サービス事業者等との連絡調整を図るなど総合的に支援している。

ア 通園児(者)入退所状況

(単位:人)

施設別 入退状況	定員	在籍数			退所 児童数	左の内訳					3/31 在籍児 (者)数	
		前年度 引継	本年度	計		特別支援 学校	小学校	幼稚園・保育所 並行通園の利用 無 有	他施設	その他		
医療型児童発達支援センター	70	9	6	15	7	2		4			1	8
児童発達支援センター(知的)	30	49	22	71	31	7	13	9	(2)	2		40
内、並行通園		30	11	41	17	3	10	4				24
児童発達支援センター(重心児)	15	11	3	14	8	2		1		5		6
生活介護		16	1	17	1					1		16
計	115	85	32	117	46	11	13	14	(2)	7	1	71
内、並行通園		30	11	41	17	3	10	4				24
平成29年度	115	84	47	131	46	8	23	12	(12)	3		85
内、並行通園		25	19	44	25	2	16	7			(1)	19

※平成30年5月1日、医療型児童発達支援センター・児童発達支援センター(知的)の定員変更

※前年度引継71人中2人は並行通園に変更

イ 通園児(者)疾患別・年齢別状況

(単位:人)

区分 疾患別 年齢別	医療型児童発達支援センター						児童発達支援センター(知的)					児童発達支援センター(重心児)・生活介護					合計		
	脳性まひ	脳原性発達障害	筋障害	染色体異常	その他	計	知的遅れなし	知的遅れあり				計	脳性まひ	脳原性発達障害	筋障害	染色体異常		その他	計
								発達障害	染色体異常	病理的原因あり	その他								
1歳		1				1					0						0	1	
2歳	1	1			1	3		1			1		1			1	2	6	
3歳				1	2	3	1	6			7					3	3	13	
4歳		2				2	2	13		1	16		1			2	3	21	
5歳		2	1		1	4	2	19	2	1	2	26	1	1		1	1	34	
6歳	2					2	3	16			2	21		1		1	2	25	
小計	3	6	1	1	4	15	8	55	2	1	5	71	1	4	0	1	8	14	100
18～19歳													1				1	1	
20～29歳													1			7	8	8	
30～39歳													1			6	7	7	
40歳以上													1				1	1	
小計													4			13	17	17	
計	3	6	1	1	4	15	8	55	2	1	5	71	5	4	0	1	21	31	117
H29	3	6	1	3	2	15	9	58	8	4	5	84	4	6	0	1	21	32	131

(注)知的遅れなし:発達障害ほか/発達障害:自閉傾向のある者を含む/染色体異常:ダウン症ほか

ウ 障害児相談支援事業の状況

(単位:件)

区 分	支援計画作成件数	モニタリング実施件数	サービス提供時 モニタリング件数
平成30年度	61	38	34
平成29年度	59	35	—

エ 発達障害児医学的療育支援事業の状況

「子ども地域支援事業」として、発達障害あるいは発達障害の疑いのある子どもが、地域社会の中で生き生きとした生活を送るために感覚統合療法等を用いた専門的な支援を行うことを目的とし、施設訪問事業及び、研修会講師派遣事業を実施した。

○ 訪問事業・研修会講師派遣事業

区 分	施設訪問事業		研修会講師派遣事業	
	件 数	相談児童数	件 数	研修会参加者
平成30年度	310件	1,388人	12件	295人
平成29年度	279件	1,268人	10件	250人

○ 訪問事業の訪問先

区 分	件 数	相談児童数
小学校	66件	297人
中学校	0件	0人
特別支援学校	2件	7人
幼稚園	87件	394人
幼児園・子ども園	13件	60人
保育所(園)	70件	349人
学童保育所	28件	100人
療育教室、施設	15件	72人
デイサービス	29件	109人
計	310件	1,388人

オ 保育所訪問支援の状況

わかくさ愛育園を利用している園児が、集団生活に適応できるよう、当園保育士が地域の保育所等を訪問し、園児本人、保護者、保育所等スタッフに支援を行う。

○ 訪問先別件数

(単位:件)

訪問先	園数	件数
保育所・(園)	9	11
幼稚園	19	29
合 計	28	40

○ 市町村別件数

(単位:件)

訪問先市町村	園数	件数	訪問先市町村	園数	件数
大和郡山市	1	2	三郷町	3	3
桜井市	1	2	斑鳩町	1	1
大和高田市	1	1	川西町	2	3
橿原市	3	3	田原本町	3	8
五条市	2	2	上牧町	1	1
香芝市	2	2	王寺町	1	1
葛城市	3	5	広陵町	2	2
河合町	1	2	大淀町	1	2
合 計				28	40

○ 相談・支援内容

集団生活、活動への参加状況について

- ・ 他の園児と仲良く遊べているか
- ・ 友達づくりができているか
- ・ 集団活動ができているか
- ・ 身の回りのことが自分でできているか
- ・ 先生の指示通りにできているか

サポート体制について

- ・ スタッフが園児の特性を理解しているか
- ・ 発作時等にどのように対応しているか
- ・ どのように保育での関わりをしているか

(2) 自立訓練センターの状況

障害者総合支援法に基づく指定障害者支援施設として、自立訓練(機能訓練・生活訓練)及び施設入所支援を行った。

利用者が地域社会で自立した生活を営むことができるよう、利用者の障害特性や個々のニーズに即した質の高い障害者支援サービスの提供に努めた。

また、地域での居宅生活を営む者で、主たる介護者の疾病、その他の理由により、短期間の入所を必要とする障害者につき、入浴・排せつ・食事等の介助及び必要な支援を行った。

ア 日中活動サービス

○ 指定障害者支援施設の利用状況

(単位:人)

区分	利用契約 状況	定員	1日当たり 利用者数	実利用者数			契約 解除 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
				前年度 引継	本 年度	計		就職	他施 設	医療 機関	家庭 復帰	
自立訓練(機能)		45	23.1	40	21	61	27	0	2	3	22	34
自立訓練(生活)		30	21.1	35	16	51	13	0	2	1	10	38
計		75	44.2	75	37	112	40	0	4	4	32	72
平成29年度		75	51.3	77	45	122	47	0	8	2	34	75

※自立訓練(機能)自立訓練(生活)平成30年7月より定員変更

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
自立訓練(機能)	35	3	4	2	17	61
自立訓練(生活)	23	0	0	18	10	51
計	58	3	4	20	27	112
平成29年度	64	4	5	20	29	122

○ 利用契約者の年齢別状況

(単位:人)

区 分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
自立訓練(機能)	0	3	3	17	25	13	0	61
自立訓練(生活)	0	3	3	12	17	15	1	51
計	0	6	6	29	42	28	1	112
平成29年度	0	4	13	30	47	27	1	122

イ 施設入所支援サービス

○ 指定障害者支援施設の利用状況

(単位:人)

利用契約 状況 区 分	定 員	1日当たり 利用者数	実利用者数			契 約 解 除 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
			前年度 引継	本 年 度	計		就 職	他施 設	医療 機関	家庭 復帰	
平成30年度	40	29.4	37	11	48	22	0	3	3	16	26
平成29年度	60	35.6	33	25	58	21	1	4	1	15	37

※施設入所支援平成30年7月より定員変更

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区 分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
平成30年度	36	0	2	5	5	48
平成29年度	44	1	2	5	6	58

○ 利用契約者の年齢別状況

(単位:人)

区 分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
平成30年度	0	1	2	12	18	15	0	48
平成29年度	0	0	5	16	22	15	0	58

ウ 短期入所支援サービス

○ 指定短期入所事業の利用状況

(単位:人・日)

区 分	利用者数	延べ利用日数
平成30年度	10	359
平成29年度	10	485

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区 分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
平成30年度	3	3	2	2	0	10
平成29年度	3	3	2	2	0	10

エ 計画相談事業

(単位:件)

区 分	利用計画作成件数	モニタリング実施件数
平成30年度	24	32
平成29年度	35	48

(3) 社会就労センター(就労継続支援事業B型)の状況

就労することが困難な障害者に対して、その自立と社会経済活動の参加を促進するため、個別支援計画に基づき、個々の能力や特性に応じた就労支援サービスの提供に努めた。

また、取引事業者との連携を密にし、利用者の実情に即した作業や高単価の作業を受注することで工賃収入、平均工賃のアップにつなげた。昨年度より利用者数が減少しており、募集チラシの配布だけでなく、市町村障害福祉担当課や養護学校、病院等県内各機関を訪問し、事業所の説明紹介や募集活動を行ない利用者増員に取り組んだ。

ア 利用状況

(単位:人)

区分	利用契約 状況	定員	1日当たり 利用者数	実利用者数			退 所 者 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
				前年度 引継	本 年 度	計		就 職	他施 設	医療 機関	家庭 復帰	
平成30年度		30	24.0	28	2	30	0	0	0	0	30	
平成29年度		30	25.2	32	1	33	5	0	4	0	1	28

イ 年齢別・原因疾病別状況

(単位:人)

疾病別\年齢別	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
脳性麻痺	0	0	0	0	1	0	0	1
脳血管障害	0	0	2	1	5	7	0	15
脊椎損傷	0	0	0	0	1	0	0	1
頭部損傷	0	0	0	4	2	0	0	6
知的障害	0	2	0	1	0	1	0	4
その他	0	0	0	1	1	0	1	3
計	0	2	2	7	10	8	1	30
平成29年度	0	2	2	8	7	9	0	28

ウ 工賃の状況

区 分	延べ支払対象人員数	工賃支払額	月額平均工賃
平成30年度	347人	4,984,318円	14,363円
平成29年度	360人	4,545,941円	12,628円

(4) 高次脳機能障害支援センター運営事業の状況

高次脳機能障害者に対する支援を総合的に行う県の拠点として、本人等からの相談に応じ適切な指導又は助言を行うとともに、関係機関等との連携強化により、高次脳機能障害者に対する総合的な支援体制の整備を推進し、高次脳障害者及びその家族の福祉の向上を図った。

ア 個別相談事業、検査・診断事業

(単位:件)

区 分	延べ 相談件数	左 の う ち		診 断	神経心理学 検査
		来所相談	訪問相談		
平成30年度	2,880	468	17	53	39
平成29年度	3,016	448	24	72	56

イ 普及・啓発事業

区 分	開催日	内 容	参加人数
高次脳機能 障害支援セ ンター主催	平成30年12月1日	高次脳機能障害研修会(家族・支援者対象) テーマ:高次脳機能障害のリハビリテーション等	115人
	平成31年3月12日	中和圏域高次脳機能障害勉強会(地域支援職員対象) テーマ:高次脳機能障害の症状と支援制度について、事例検討会	29人
講師派遣	平成30年10月29日	関西学研医療福祉学院 (作業療法士学科生徒対象研修会) テーマ:高次脳機能障害者の支援について	10人
	平成30年12月12日	障害者職業センター (カウンセラー・ジョブコーチ職員対象研修会) テーマ:高次脳機能障害者の就労支援について	14人
	平成31年3月14日	障害者支援施設 仁優園(職員対象研修会) テーマ:高次脳機能障害の症状と対応について	16人
家族会主催 実行委員会 協力	平成30年8月5日	奈良県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 テーマ:子供の高次脳機能障害について	136人

4 県営福祉パーク(介護実習・普及センター)の運営状況

県営福祉パークでは、高齢者や障害者を含め訪れたすべての人が見て・触れて・体験しながら学べる場所として、公共施設モデル、多目的広場等の屋外施設や福祉住宅体験館の維持管理に努めた。

介護実習・普及センターでは、要介護者等からの各種相談に応じるとともに、介護、実習を通じて介護知識・技術の普及啓発に努めた。また、展示の福祉機器をできるだけ最新機器に更新する等の取り組みを行った。

今年度は16団体の後援を得て、「みんなで見て、触れて、試して、体験しましょう」のテーマで、第3回福祉機器展を開催し、約500名の参加者があった。

ア 相談事業の実施状況

区 分	件 数	相 談 者 数
平成30年度	1,373 件	1,673 人
平成29年度	1,298 件	1,584 人

イ 介護講座等の実施状況

講 座 名	実 施 回 数	受 講 者 数
介護体験講座	150 回	2,530 人
介護講座	8 回	219 人
高齢者向講座	8 回	168 人
福祉住宅体験館案内ボランティア育成講座	1 回	4 人
自助具製作体験講座	12 回	47 人
福祉機器展(つながり祭)	1 回	2,000 人
夏休み親子介護体験講座	1 回	8 人
介護予防講座	5 回	117 人
第3回福祉機器展	1 回	500 人
(上記のうちボランティア関係分)	(4 回)	(40 人)
計	187 回	5,593 人
平成29年度	186 回	5,046 人

ウ 福祉パーク・福祉住宅体験館利用状況

区 分	団 体 数	利 用 者 数
個人利用者		76,188人
団体見学	149	2,530人
計	149	78,718人
平成29年度	149	78,208人

エ 福祉機器展の開催状況

○第3回福祉機器展

開 催 日：平成30年9月29日(土) 10:00～15:00

開催内容：福祉機器展示

参加人数：約500人

- ・電動車いすサッカー
- ・介護予防体操
- ・YAMATO超人ナライガー(奈良のご当地ヒーローショー)
- ・ふうせんアート
- ・大仏連
- ・動物ふれあいコーナー
- ・バザー
- ・自助具製作体験
- ・障害者作品展
- ・模擬店
- ・団体見学

5 職員の状況

○ 職員数

(単位:人)

		平成29年度 当初職員数	平成30年度 当初職員数	増 減	備 考
職 員		61(7)	60(7)	△1	病院機構との併任(事務部) H29:5→ H30:5
内 訳	事 務 部	8	8	0	
	施 設 部	52(7)	51(7)	△1	
	福祉パーク	1	1	0	

日々雇用職員を除く ()は非常勤職員数(内数)